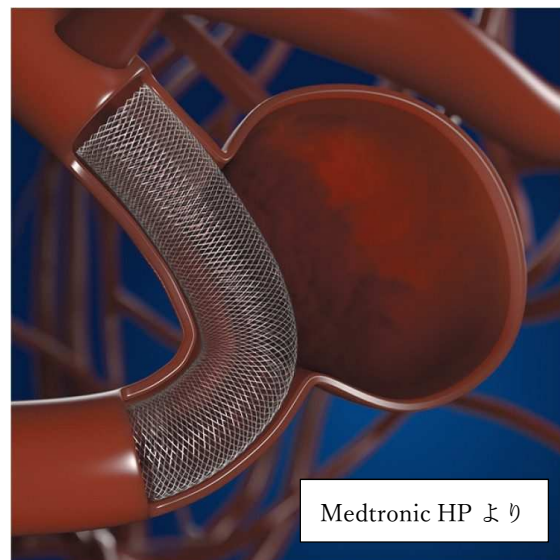


最新の治療

フローダイバーターステント治療（図1）

近年脳動脈瘤の最新治療法として注目されているのがフローダイバーターステント治療です。

脳動脈瘤が存在する血管に網目の細かい特殊構造のステントを留置することで、脳動脈瘤内の血液を減少させ、脳動脈瘤内を血栓化させることで根治を図ります。ステント留置直後から完全に血栓化するわけではなく、徐々に血栓化が進み根治となります（完全血栓化の程度は半年内に約75%、1年で約85%）。



[当院での実例]

51歳 男性 #左内頸動脈瘤

脳ドックにて偶発的に指摘、最大径6.7mm、ネック長5.7mm。

フローダイバーターステント治療を実施、治療6日後自宅退院。

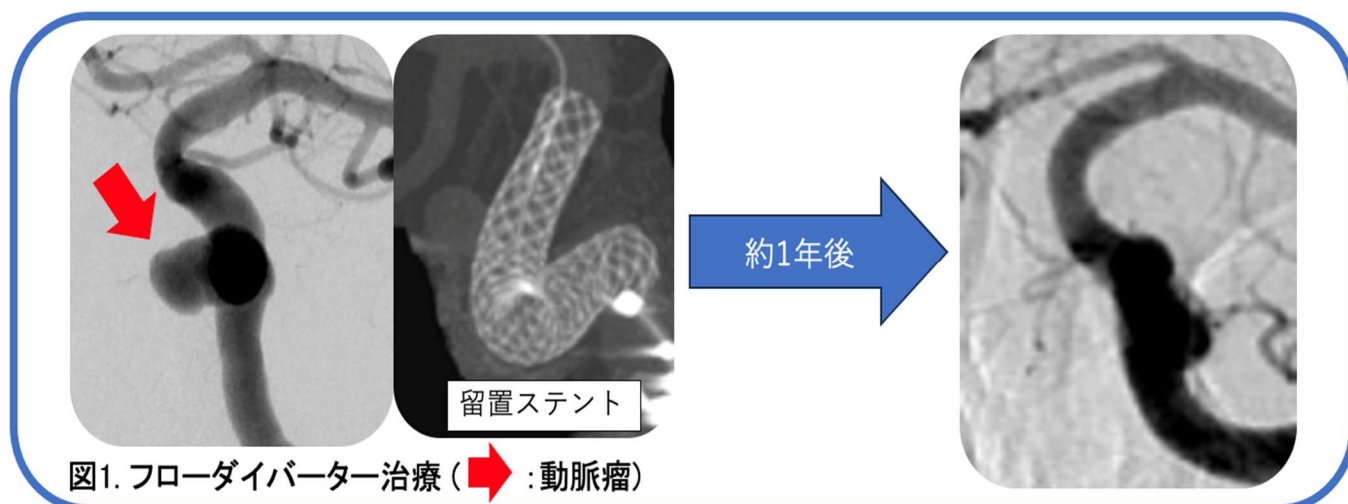



図1. フローダイバーター治療（ : 動脈瘤）

Onyx 塞栓治療 (図 2)

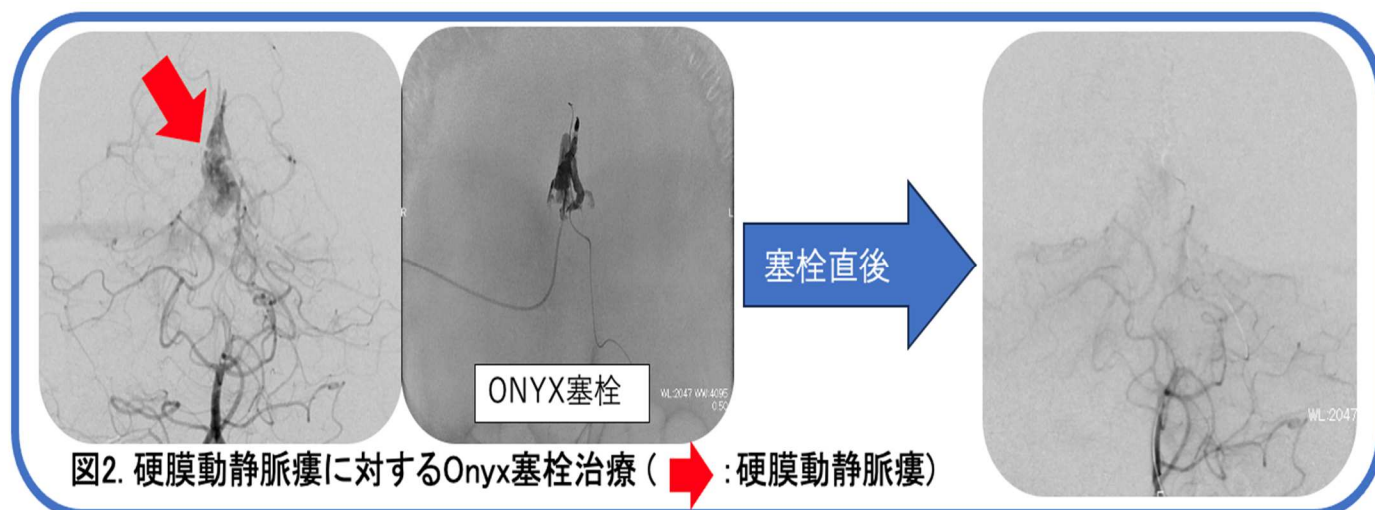
脳動静脈奇形や硬膜動静脈瘻など特殊な脳血管疾患に対する新たなデバイスとして、Onyx(析出型非接着性液体塞栓物質)が限られた施設で使用できるようになっています。従来の治療では根治が難しかった症例でも、塞栓物質による治療をうまく組み合わせることで治療できた症例も増えています。また塞栓物質により病変を小さくしてから放射線治療を行うなど、安全性を考慮した治療選択肢も選べるようになりました。

[当院での実例]

48 歳 男性 #小脳テント部硬膜動静脈瘻(小脳出血発症)

準緊急でカテーテル手術(Onyx 塞栓治療)を実施。

治療後 2 週間のリハビリを経て自宅退院。



フローダイバータースtent治療や ONYX 塞栓治療などの最新治療は高度な技術が求められるため、脳血管内治療医の中でも実施医として認定された術者のみが使用可能とされており、当院ではいずれの治療も可能であり、幅広い治療法の提案が可能です。他の脳卒中病院に引けを取らない治療を患者様に提供できる体制となっています。